

中級から上級へ
留学生のための日本語文法
Japanese Grammar for Intermediate Learners

だい しょう にほんご きほんこうぞう
第1章 日本語の基本構造

どれくらいできる？ (第1章)

皆さんは日本語の助詞についてどれくらい理解しているでしょうか。以下の質問に答えて、助詞に対する皆さんの知識を確認しましょう。終わったら、25 ページの解答を見て、自己採点してください。



次の文の () の中に以下の助詞 (～が、～を、～に、～で、～と、～へ、～から、～より、～まで) から1つ選んで、入れてください。助詞を入れる必要がない場合は、ゼロ (φ) を入れてください。

- (1) 花子が去年 () ハワイに行った。
- (2) 日本文学を勉強するために、日本 () 留学した。
- (3) 父親が健康のために毎朝、公園 () 散歩している。
- (4) 友達が風邪 () 学校を休んだ。
- (5) イベントのために多くの人が公園 () 集まった。
- (6) 私がカラオケ () 苦手であることを誰に聞きましたか。
- (7) 妹が母親 () 出かけた。
- (8) 会議が昨日 () まだ続いている。
- (9) 地球 () UFO が存在すると思うか。
- (10) アンナが日本語能力試験のN2 () 合格した。
- (11) 次郎がクラスリーダー () ふさわしい。
- (12) 鈴木さんがあなたの意見 () 反対している。
- (13) 由美 () 明美のほうが若い。
- (14) 北海道から九州 () 新幹線が走っている。
- (15) 温泉が日本 () 多いことを知っているか。

「どれくらいできる？（第1章）」の解答

いかがでしたか。迷わないで正しい助詞を入れることができたでしょうか。以下が解答になります。あなたは15問中何問正解できたでしょうか。得点欄に自分の点数を記入してください。

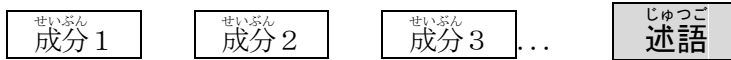


- (1) 花子が去年（ ϕ ）ハワイに行った。
- (2) 日本文学を勉強するために、日本（に／へ）留学した。
- (3) 父親は健康のために毎朝、公園（を）散歩している。
- (4) 友達が風邪（で）学校を休んだ。
- (5) イベントのために多くの人が公園（に）集まった。
- (6) 私がカラオケ（が）苦手であることを誰に聞きましたか。
- (7) 妹が母親（と）出かけた。
- (8) 会議が昨日（から／より）まだ続いている。
- (9) 地球（に）UFOが存在すると思うか。
- (10) アンナが日本語能力試験のN2（に）合格した。
- (11) 次郎がクラスリーダー（に）ふさわしい。
- (12) 鈴木さんがあなたの意見（に）反対している。
- (13) 由美（より）明美のほうが若い。
- (14) 北海道から九州（まで）新幹線が走っている。
- (15) 温泉が日本（に）多いことを知っているか。

自分が間違ったところを確認してください。どうして間違えたと思いますか。何が理解できていないのでしょうか。正解だったところは、どうしてその答えになるのか説明できるでしょうか。

0. 日本語の基本構造

日本語の**基本構造** (Basic Structure) はとてもシンプルです。日本語の中心は**述語** (Predicate) です。述語にいくつかの**成分** (Component) が付いて、日本語は構成されます。



中心となる**述語**には、**動詞** (Verb) と**形容詞** (Adjective) と**名詞** (Noun) があり、それぞれの文を、**動詞文**、**形容詞文**、**名詞文**と呼びます。

- | | |
|----------------------|--------|
| 1) 母が台所で料理を作る (動詞) | → 動詞文 |
| 2) 富士山がとても美しい (イ形容詞) | → 形容詞文 |
| 3) 駅前がにぎやかだ (ナ形容詞) | → 形容詞文 |
| 4) あの人が店長だ (名詞+だ) | → 名詞文 |

これらの例文を成分ごとに表すと、以下のようになります。

- | | | | | |
|--|------|-------|-----|----|
| 1) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>母が</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>台所で</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>料理を</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>作る</td></tr></table> (動詞文) | 母が | 台所で | 料理を | 作る |
| 母が | | | | |
| 台所で | | | | |
| 料理を | | | | |
| 作る | | | | |
| 成分1 成分2 成分3 動詞 | | | | |
| 2) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>富士山が</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>とても</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>美しい</td></tr></table> (形容詞文) | 富士山が | とても | 美しい | |
| 富士山が | | | | |
| とても | | | | |
| 美しい | | | | |
| 成分1 成分2 イ形容詞 | | | | |
| 3) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>駅前が</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>にぎやかだ</td></tr></table> (形容詞文) | 駅前が | にぎやかだ | | |
| 駅前が | | | | |
| にぎやかだ | | | | |
| 成分1 ナ形容詞 | | | | |
| 4) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>あの人が</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>店長だ</td></tr></table> (名詞文) | あの人が | 店長だ | | |
| あの人が | | | | |
| 店長だ | | | | |
| 成分1 名詞+だ | | | | |

このように、日本語は述語と1つ以上の成分からできています。

<やってみよう1>

次の文は、①動詞文、②形容詞文、③名詞文のどれでしょうか。例にならって、()の中に数字を入れてください。

(例) (③) 祖父が病**気**だ。

- (1) () あの人が**インド人**だ。
- (2) () **故郷**がとても**なつかしい**。
- (3) () **大学の階段**が**急**だ。
- (4) () スマホの**使い方**が**複雑**だ。
- (5) () **机**の上に**ファイル**が**ある**。
- (6) () **学生**が**授業中**に**寝**る。

このように、日本語は述語の種類によって、動詞文と形容詞文と名詞文に分かれます。上の例文を成分別に分けると、以下のようになります。

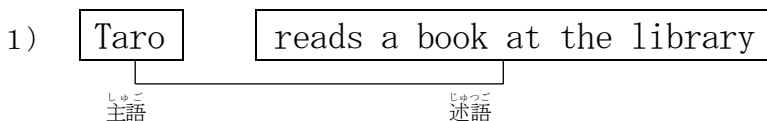
- (1) あの人が インド人だ。
- (2) 故郷が とても なつかしい。
- (3) 大学の階段が 急だ。
- (4) スマホの使い方が 複雑だ。
- (5) 机の上に ファイルが ある。
- (6) 学生が 授業中に 寝る。

上の問題で気をつけてほしいのは、「～の」は名詞と名詞をつないで、全体で1つの成分を作るということです。(3)の「大学の**階段**」、(4)の「スマホの**使い方**」、(5)の「**机**の上」は、全体で1つの成分となります。また、ナ形容詞は名詞と似ているので気をつけてください。上の例で言えば、「急だ」と「複雑だ」はナ形容詞になります。

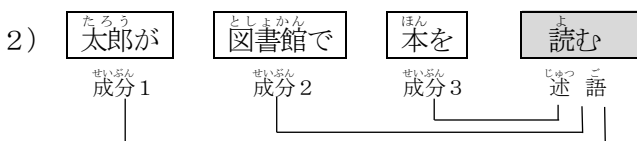
1. 格助詞の働き

これまでに見てきたように、日本語の一番重要な要素は述語であり、この述語に1つ以上の成分が付いたものが日本語の基本構造となります。主語 (Subject) と述語 (Predicate) という英語の基本構造とは異なるので、気をつけてください。

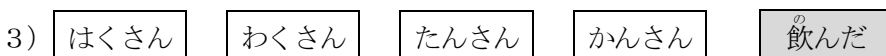
(英語)



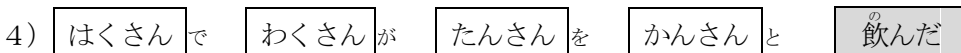
(日本語)



日本語は述語を中心いくつかの成分からできています。主語も成分の1つであり、英語のように述語と対立する特別な存在ではありません。では、ここで質問です。次の日本語はどのような意味でしょうか。



これだけで意味のわかる人はとても少ない人です。日本人でも理解できる人はあまりいないかもしれません。意味の分からなかった人も、次のようにしたら、いかがでしょうか。



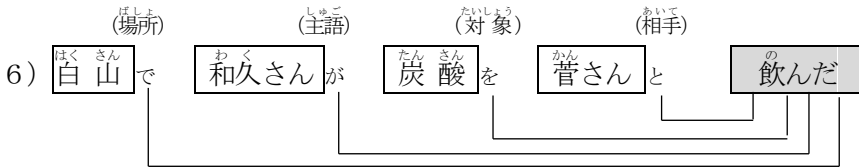
ひとつひとつの単語の意味はよくわからなくても、日本語全体の意味は分かるようになったのではないのでしょうか。なぜでしょうか。それは単語に助詞 (Particle) が付いたからです。助詞によって、それぞれの単語の役割がわかるようになったからです。

漢字で表すと、わかりやすくなるので見てください。



5) はくさんで わくさんが たんさん さん 炭酸を かんさんと の 飲んだ

つまり、「白山」は場所（石川県と岐阜県の間にある有名な山または東京の地下鉄の駅名）、「和久さん」は主語（日本人の名前）、「炭酸」は飲み物（炭酸飲料水のこと）、「菅さん」は相手（日本人の名前）であることが、助詞によって示されたからです。この関係を図で表すと、次のようになります。



このような「で、が、を、と」という助詞を格助詞 (Case Particle) と呼びます。日本語文は格助詞によって、述語との関係がわかるようになっています。したがって、格助詞は文を構成する成分と述語を結ぶために必要不可欠な要素になるわけです。

これらの4つの成分は、述語「飲んだ」として、重要な成分 (Essential Component) とそうではない成分 (Optional Component) に分かれます。この文を独立した1つの文として見ると、重要な成分は省略できませんが、重要ではない成分は省略できます。このことを以下の文で確認しましょう。文が成立する場合は○、しない場合は×を記入してください。なお、会話では、理解していれば主語や格助詞を省略できますが、ここでは省略しない1つの文として考えてください。

- () わくさんが たんさん さん 炭酸を かんさんと の 飲んだ。 (「白山で」が省略)
- () はくさん さん で たんさん さん 炭酸を かんさんと の 飲んだ。 (「和久さんが」が省略)
- () はくさん さん で わくさん が たんさん さん 炭酸を かんさんと の 飲んだ。 (「炭酸を」が省略)
- () はくさん さん で わくさん が たんさん さん 炭酸を かんさんと の 飲んだ。 (「菅さんと」が省略)

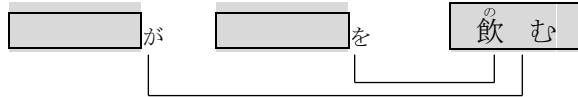
これをまとめると、以下ようになります。

6) はくさん さん で わくさん が たんさん さん 炭酸 を かんさん と の 飲んだ

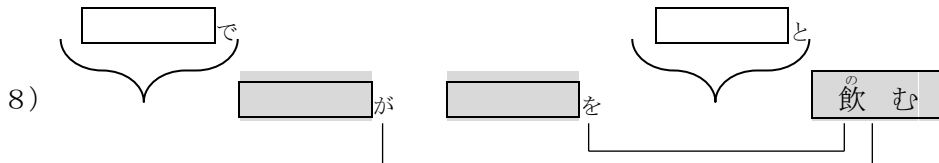
(重要ではない成分) (重要な成分) (重要な成分) (重要ではない成分) (述語)

このことから、「飲む」という述語は必ず「～が」と「～を」という格助詞を必要とすることがわかります。このような述語と格助詞との組み合わせを**句型** (Sentence Pattern) と呼びます。

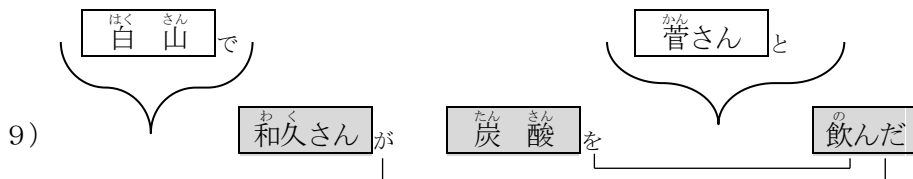
7) 「飲む」の句型



これに対して、「～で」と「～と」は、「飲む」にとって必ずしも必要な成分ではありませんが、オプション (Option) として文の内容を深めています。「～で」は場所として、「～と」は相手として、句型と一緒に表されます。



これらのことから、日本語の格助詞には2種類あることがわかります。「句型に使われる格助詞」と「句型に使われない格助詞」という2つです。言い換えると、「重要な成分の格助詞」と「重要ではない成分の格助詞」ということです。したがって、前のページの文の構造は、「和久さんが炭酸を飲んだ」という重要な成分 (句型) に、場所である「白山で」と相手である「菅さんと」という重要ではない成分が加わってできていると言えるわけです。



このように、日本語の中心となるものは句型であり、その句型にその他の成分が付いたものが、日本語の**基本構造**となります。もちろん、日本語の**基本構造**は句型だけで成立することもできます。

<やってみよう2>

例れいにならって、次の文ぶんの中から重要じゅうような成分せいぶんと述語じゆつごを選び、○で囲かこんでください。この組み合わせあが文型ぶんけいとなります。

(例) あれいの人ひとがたぶんたなか田中たなかさんだ。

あれいの人ひとが ○ たぶん ○ 田中たなかさんだ。

(1) 風かぜが冷つめたい。

風かぜが 冷つめたい

(2) 三郎さぶろうが昨日きのう学校がっこうで友達ともだちとけんかした。

三郎さぶろうが 昨日きのう 学校がっこうで 友達ともだちと けんかした

(3) 太郎たろうが以前いぜんから花子はなこが好きすいだ。

太郎たろうが 以前いぜんから 花子はなこが 好きすいだ

(4) 祖母そぼが祖父そふと毎日まいにち公園こうえんを散歩さんぽする。

祖母そぼが 祖父そふと 毎日まいにち 公園こうえんを 散歩さんぽする。

(5) 母親ははおやが教育きょういくにととても熱心ねっしんだ。

母親ははおやが 教育きょういくに ととても 熱心ねっしんだ

(6) トムが毎週まいしゅう花子はなこに英語えいごを教おしえる。

トムが 毎週まいしゅう 花子はなこに 英語えいごを 教おしえる

ここで見るように、日本語にほんごの文型ぶんけいに使つかわれる格助詞かくじょしは全部ぜんぶで4つ(「～が」「～を」「～に」「～と」)です。次のページで、日本語にほんごの文型ぶんけいの種類しゆるいを見みてみましょう。

2. 文型（述語と格助詞の組み合わせ）の種類

日本語のすべての文（動詞文、形容詞文、名詞文）には文型が存在します。日本語上級者になるためには、文型を頭の中に入れる必要があります。意味的な説明はあくまで参考として、述語と一緒に格助詞をそのまま覚えてください。

(1) 動詞文の文型例

(1)～が動詞	子どもが起きる／父が寝る／赤ちゃんが泣く（単純な動作）
	時計が壊れる／空が光る／ガラスが割れる（単純な変化）
(2)～が～を動詞	太郎がパンを食べる／兄が映画を見る／姉が服を着る（対象）
	父が道を歩く／車が家の前を通る／犬が丘を走る（通過点）
(3)～が～に動詞	母が家を出る／ジムが日本を出発する（起点「を＝から」）
	父が結婚に反対する／学生が試験に合格する（対象）
	先生が間違いに気づく／親が借金に苦しむ（心的対象）
	子どもが親に相談する／太郎が次郎に会う（相手「と」でもOK）
	兄がホテルに泊まる／太郎が銀行に就職する（地点）
	子どもが広場に集まる／電車が駅に着く（着点）
(4)～に～が動詞	マリアが学校に行く／娘が中国に留学する（方向「に＝へ」）
	机の上の本がある／公園に子どもがいる（存在の地点）
	私に山が見える／私に雨音が聞こえる（自発の動詞） （「私が見える／私が山が見える」「私に聞こえる」「私に聞こえる」「に＝が」）
	太郎に倒立ができる／父に英語が話せる（可能の動詞） （「太郎が倒立ができる／父が英語が話せる」「に＝が」） （可能形は「～が～を動詞」でもOK。 「父が英語を話せる」「妹がギターを弾ける」）
(5)～が～と動詞	弟が兄とけんかする／太郎が花子と別れる（対する相手）
(6)～が～に～を動詞 ～が～を～に動詞	トムがエレンに花束をあげる（相手・対象）
	太郎が次郎に教科書を借りる（相手「に＝から」・対象）
	花子が紙をゴミ箱に捨てる（対象・着点）

(1)～が動詞

「子どもが起きる」「時計が壊れる」などの単純な動作や変化を表します。

(2)～が～を動詞

多くの目的語（対象）を取る動詞がこの文型になります。「太郎がパンを食べる」などです。この文型では、目的語ではない通過点や起点も「～を」が付きます。「父が道を歩く」などが通過点の例で、「母が家を出る」が起点の例です。移動の動詞の多くがこの文型になるので、気をつけてください。なお、起点の「～を」は、「母が家から出る」など、「～から」で言い換えることができます。

(3)～が～に動詞

留学生がよく間違える文型です。「～に」ではなく「～を」で表す人が多くいます。この文型の動詞をしっかりと覚えましょう。「父が結婚に反対する」と「先生が間違いに気づく」は「対象」を表しますが、後者は心的な対象となります。「子どもが親に相談する」など、動作が及ぶ相手は「～に」ですが、二人が一緒にという意味では「～と」が使われます。「兄がホテルに泊まる」は動作の地点で、「子どもが広場に集まる」は、動作の着点です。「～に」を「～で」にする間違いが多く見られます。「マリアが学校に行く」は、動作の方向で、「～に」とともに「～へ」でも表すことが可能です。

(4)～に～が動詞

状態を表す動詞がこの文型になります。「机の上に本がある」は存在、「私に山が見える」は自発、「太郎に倒立ができる」は可能を表します。自発の動詞は「見える」「聞こえる」「わかる」の3つだけで、「私が山が見える」のように「～が～が動詞」にもなります。会話では主語の「私が」は省略されます。また、可能の表現でも「太郎が倒立ができる」のように「～が～が動詞」になります。さらに、可能形は、「父が英語を話せる」のように「～が～を動詞」でもOKです。

(5)～が～と動詞

必ず相手を必要とする動作です。「弟が兄とけんかする」などがあります。

(6)～が～に～を動詞／～が～を～に動詞

「～に」と「～を」の順番はどちらでもかまいません。相手と対象を必要とする場合は、「トムがエレンに英語を教える」などになります。動作が主語に向かう「太郎が次郎に教科書を借りる」では「太郎が次郎から教科書を借りる」など、「～から」で言い換えることができます。その他に、対象と着点を必要とする場合は、「花子が紙をゴミ箱に捨てる」などになります。

<やってみよう3>

次の動詞はどの文型になるでしょうか。例にならって、助詞を入れてみましょう。間違ってもいいので、自分自身で考えてみましょう。なお、「～は」は格助詞ではないので、文型には使われません。「～は」は第2章で扱います。

(例1) ～が ～に 電話する	(例2) ～が ～に ～を 頼む
(1) デートする	(2) 遊ぶ
(3) 売る	(4) 勤める
(5) 散歩する	(6) 結婚する
(7) 曲がる	(8) わかる
(9) 作る	(10) 集合する
(11) 読める	(12) 対立する
(13) あこがれる	(14) 働く
(15) お置く	(16) もらう
(17) 離れる	(18) 聞こえる
(19) 議論する	(20) 消す



先生のワンポイント・レッスン①

文型で助詞を考える

留学生に助詞の間違が多い理由は、文型を考えないで助詞を付けるからです。ほとんどの助詞は動詞によって決まっています。

× 友達がカナダで留学した → ○ 友達がカナダに留学した

留学生の多くが「カナダ」は場所なので「～で」が付くと思いき、「友達がカナダで留学した」という文を作ります。しかし、「留学する」は「～が～に／へ留学する」という文型であり、「～で」は使われません。このように、助詞を考えるときは、動詞で考える必要があります。助詞の間違いは「～が～を動詞」と「～が～に動詞」に集中しますので、しっかりと覚えましょう。

(2) 「～が～を動詞」

? 父親が公園で散歩する → 父親が公園を散歩する。

? 子供が廊下で走る → 子供が廊下を走る。

移動動詞の多くが「～が～を動詞」になります。「公園で散歩する」や「廊下で走る」も言えることがありますが、その場合は出来事が起きた場所に関心がある時です。「どこで散歩したか」「どこで走ったか」などの質問に答える場合には「～で」のほうが自然になりますが、通常は「～を」が使われます。

(3) 「～が～に動詞」

× 私が試験を合格した。 → 私が試験に合格した。

× 妹が間違いを気づいた。 → 妹が間違いに気づいた。

× 父がホテルで泊まった。 → 父がホテルに泊まった。

× 友達が公園で集まった。 → 友達が公園に集まった。

「公園で集まった」と言えることがありますが、この場合も「どこで集まったのか」などの質問に答える形で「公園で集まった」と言うことができます。しかし、通常は「公園に集まる」というのが自然な表現になります。

(2) 形容詞文と名詞文の文型例

(1)～が形容詞	<p>夕焼けが美しい／空が青い／試験が難しい (物事の性質)</p> <p>町がにぎやかだ／海が静かだ／景色がきれいだ (物事の性質)</p>
(2)～が～が形容詞	<p>私がへびが怖い／私が背中がかゆい (感情・感覚の形容詞)</p> <p>私が音楽が好きだ／私が試験が心配だ (感情・感覚の形容詞)</p> <p>花子が字がうまい／次郎がテニスが上手だ (技能の形容詞)</p>
(3)～が～に形容詞	<p>先生が学生に優しい／学生が政治に無関心だ (心的対象)</p> <p>石油が日本に足りない／車が生活に不可欠だ (範囲)</p>
(4)～が名詞＋だ	<p>彼が太郎だ／あの人が先生だ／あれが病院だ (物事の名称)</p>

(1)～が形容詞

「夕焼けが美しい」や「町がにぎやかだ」など、単純な物事の性質を表します。

(2)～が～が形容詞

この文型に使われる形容詞の特徴は、「私がへびが怖い」や「私が音楽が好きだ」などの感情・感覚の形容詞です。話者の感情や感覚を表すので、通常「私」以外の人は主語にはなれません。

- ・私が頭が痛い → ?花子が頭が痛い
- ・私が将来が不安だ → ?三郎が将来が不安だ

「私」以外の人は、「～そうだ」「～みたいだ」などの表現で表します。

- ・花子が頭が痛いみたいだ／ようだ。
- ・三郎が将来が不安みたいだ／なようだ。

また、技能の形容詞もこの文型「～が～が形容詞」になります。

- ・私が字がうまい。
- ・私がテニスが上手だ

技能を表す「～が～が形容詞」では、他人でもその人の能力を知ることができるので、「私」以外でも主語になれます。

- ・私^{わたし}が^じ字^じが^{うまい}。 → 次郎^{じろ}が^{うまい}。
- ・私^{わたし}が^がテニス^{てにす}が^{じょうず}上手^うだ。 → 夏子^{なつこ}が^{うまい}。

(3)～が～に形容詞

単純な形容詞は「～が形容詞」、感情・感覚の形容詞と技能の形容詞は「～が～が形容詞」、それ以外は「～が～に形容詞」の文型となります。

- ・中田先生^{なかつたせんせい}が^{がくせい}学生^{がくせい}に^{やさしい}優しい^{きびしい}／^{きびしい}厳しい。(学生に対する優しさ／厳しさ)
- ・太郎^{たろう}が^{さけ}酒^{さけ}に^{つよ}強い^{よわ}／^{よわ}弱い。(酒に対する強さ／弱さ)

その人の全般的な性格や性質を表す場合は、「中田先生が優しい／厳しい」「太郎が強い／弱い」など、単純な「～が形容詞」の文型になりますが、このテキストでは、「～が～に形容詞」として扱います。その他の例は、以下のようになります。

- ・トム^{とむ}が^{かつどう}ボランティア活動^{せつぎよくてき}に^{きび}積極的^{せきよくせい}だ。(ボランティア活動に対する積極性)
- ・ゴミ箱^{ぼこ}が^{にほん}日本^{にほん}に^{すく}少ない。(日本における少なさ)
- ・コンビニ^{せいふつ}が^{べんり}生活^{べんり}に^{べんり}便利だ。(生活における便利さ)

留学生の形容詞述語の間違いで多いのが、この「～が～に形容詞」の文型です。単純な「～が形容詞」と感情・感覚・技能の「～が～が形容詞」以外であれば、「～が～に形容詞」になると考えればいいでしょう。

(4)～が名詞+だ

「彼が太郎だ」など、物事の名称などを表すときに、使われます。

これらの文型以外にも「～が～と形容詞」「～が～と名詞+だ」があります。動詞の数が少ないため、上の文型には挙げませんでしたが、以下の動詞になります。

「～が～と形容詞」：親しい、そっくりだ、無関係だ、同じだ
・田中^{たなか}さんが^{やまだ}山田さんと^{した}親しい。 ・これがそれと同じだ。

「～が～と名詞+だ」：兄弟だ、姉妹だ、親戚だ
・太郎^{たろう}が^{じろ}次郎と^{きょうだい}兄弟だ。 ・小林^{こばやし}さんが^{すずき}鈴木さんと^{しんせき}親戚だ。

<やってみよう4>

次の形容詞と名詞述語は前ページのどの文型になるでしょうか。例にならって、助詞を入れてください。

(例1)	～が	華やかだ	(例2)	～が	～が	憎い
(1)		上手だ	(2)			市役所だ
(3)		なつかしい	(4)			嫌だ
(5)		厳しい	(6)			暗い
(7)		親切だ	(8)			弱い
(9)		友達だ	(10)			新しい
(11)		美人だ	(12)			まじめだ

これまでに見てきたように、重要な成分は述語によって決定され、助詞も決まります。述語との組み合わせである文型で考えれば、助詞の間違ひは少なくなるでしょう。次のページに文型の一覧がありますので、しっかりと覚えてください。

一つ注意してほしいのは、この文型一覧は、基本的な文型だけを扱っているという点です。前のページの例のように、「強い/弱い」はその人の全般的な性状を表す時は、「そのチャンピオンが強い」など「～が形容詞」に、特定の対象について表す時は「そのチャンピオンが試合に強い」など「～が～に形容詞」になります。述語は複数の用法を持つのが普通です。意味が異なると異なる文型になることがあります。そのことも頭の中に入れ、このテキストで扱う文型はあくまで基本的な文型であることを理解してください。

日本語の文型一覧 (網掛けの動詞がよく間違える動詞です)

ぶんけい 文型	じゆつご 述 語
(1)〜が動詞	起きる／泣く／眠る／笑う／遊ぶ／騒ぐ／働く... (単純な動作) 壊れる／光る／割れる／流れる／咲く／曲がる／死ぬ... (単純な変化)
(2)〜が〜を動詞	食べる／飲む／見る／書く／読む／消す／着る／切る／押す... (対象) 散歩する／通る／通過する／飛ぶ／走る／歩く／渡る (通過点) 出る／出発する／離れる／飛び立つ／離陸する (起点「を=から」)
(3)〜が〜に動詞	反対する／賛成する／合格する／質問する／勝つ／負ける (対象) 気づく／驚く／びっくりする／あこがれる／期待する／感心する／満足する 苦しむ／苦労する／困る／疲れる／悩む／飽きる (心的対象) 電話する／会う／相談する／キスする (相手「〜と」も可能) 住む／泊まる／滞在する／勤める／就職する (地点) 集まる／集合する／着く／届く／付く／入る／すわる／乗る (着点) 行く／向かう／留学する (方向「に=へ」)
(4)〜に〜が動詞	ある／いる／存在する (存在の地点) 見える／聞こえる／わかる (自発の動詞) 「〜が〜が動詞」でもOK できる／読める／食べられる... (可能の動詞) 「〜が〜が動詞」もOK 可能形は「〜が〜を動詞」でもOK.
(5)〜が〜と動詞	けんかする／別れる／結婚する／競争する／戦う／デートする／対立する 離婚する／議論する／争う／言い争う... (対する相手)
(6)〜が〜に〜を動詞 〜が〜を〜に動詞 (順不同)	教える／紹介する／与える／渡す／売る／貸す／見せる... (相手と対象) 教わる／もらう／借りる... (相手と対象) 相手の「に」=「から」 捨てる／投げる／置く／送る／落とす／付ける (対象と着点)
(7)〜が形容詞	美しい／正しい／白い／暗い／明るい／難しい／大きい... (物事の性質) 簡単だ／複雑だ／きれいだ／元気だ／健康だ／ハンサムだ... (物事の性質)
(8)〜が〜が形容詞	うれしい／悲しい／憎い／痛い／怖い／かゆい／ほしい／なつかしい／苦しい／好きだ／嫌いだ／嫌だ／心配だ／不安だ (感情・感覚の形容詞) うまい／下手だ／上手だ／得意だ／苦手だ (技能の形容詞)
(9)〜が〜に形容詞	厳しい／優しい／強い／弱い／ふさわしい／詳しい／夢中だ／熱心だ／親切だ／消極的だ／積極的だ／無関心だ／不満だ (心的対象) 多い／少ない／足りない／必要だ／不可欠だ／便利だ (対象)
(11)〜が名詞+だ	学生だ／独身だ／弁護士だ／公園だ／京都だ／美人だ... (物事の名称)

*これらの述語の用例は「解答と解説」を見てください。

れんしゅう
＜練習しよう＞

れい 例にならって、つぎ じゆつご かくじよし なに み 例に見ないで言えるようになるまでく かえ 繰り返し 練習してください。

(例)		～が～に～を紹介する		～が～に合格する	
勤める	書く	聞こえる	投げる	明るい	賛成する
嫌だ	強い	騒ぐ	滞在する	離婚する	簡単だ
必要だ	失礼だ	飽きる	痛い	きれいだ	あこがれる
質問する	反対する	もらう	公園だ	下手だ	集まる
貸す	得意だ	死ぬ	感心する	消す	曲がる
泣く	付ける	飲む	苦手だ	働く	無関心だ
苦勞する	暗い	議論する	憎い	悩む	足りない
厳しい	京都だ	好きだ	出発する	留学する	少ない
難しい	対立する	相談する	付く	咲く	着る
ある	積極的だ	ほしい	すわる	言い争う	大きい
争う	就職する	置く	困る	通過する	渡る
びっくりする	読める	割れる	起きる	教わる	着く
与える	満足する	美人だ	わかる	不安だ	親切だ
白い	壊れる	結婚する	複雑だ	けんかする	送る
入る	期待する	歩く	弁護士だ	食べられる	通る
正しい	多い	流れる	上手い	キスする	切る
嫌いだ	食べる	競争する	弱い	売る	会う
ハンサムだ	読む	紹介する	気づく	美しい	不満だ
うれしい	不可欠だ	届く	存在する	負ける	出る
飛び立つ	飛ぶ	勝つ	ふさわしい	夢中だ	行く
集合する	見る	合格する	落とす	散歩する	怖い
渡す	離陸する	なつかしい	乗る	元気だ	住む
心配だ	驚く	上手だ	苦しむ	消極的だ	疲れる
詳しい	泊まる	遊ぶ	向かう	いる	見える
借りる	デートする	教える	離れる	見せる	健康だ
笑う	できる	学生だ	別れる	走る	悲しい
捨てる	電話する	押す	眠る	かゆい	便利だ
熱心だ	苦しい	光る	優しい	戦う	

3. 重要ではない成分

重要ではない成分も格助詞で表されますが、述語とは関係がありません。したがって、名詞の内容によって、格助詞が付くことになります。以下では、重要ではない成分に使われる助詞の用法を紹介します。なお、重要ではない成分は副詞によっても表されますが、助詞を必要としないため、ここでは扱いません。

(1) 「～に」: 「時」を示します。

時	<p>(1) 会議が午後3時に始まる。(「会議が始まる」時)</p> <p>(2) 1945年8月15日に戦争が終わった。(「戦争が終わった」時)</p> <p>(3) 花子が誕生日にカラオケに行った。(「カラオケに行った」時)</p>
---	--

上の例のように、日時などの絶対的な基準による時の名詞は「～に」で示されます。絶対的な名詞とはいつ話されても、「時」の内容が変わらな名詞のことを言います。

これに対して、相対的な基準で示される時の名詞には「～に」が使われません。この名詞は話される時によってその内容が変わります。

(1) 相対的な基準 (発話の時によって内容が変わる)

(昨日/今日/明日、先週/今週/来週、先月/今月/来月、去年(昨年)/今年/来年、今/さっき/昔、など)

- 1) 妹が来年φアメリカ人と結婚する。(φ=ゼロ)
「来年」の意味は2020年に話せば「2021年」に、2025年なら「2026年」に変わる。
- 2) 母が今φカレーライスを作っている。
「今」の意味は、12時に話せば「12時」に、18時なら「18時」に変わる。

さらに、期間や繰り返しの時の名詞にも「～に」は付きません。

(2) 期間や繰り返し

(5日間、3週間、2か月間、7年間、毎日、毎週、毎月、毎年、など)

- 1) 明美が2年間φタイ語を勉強している。(期間)
- 2) 毎週φ公園でイベントが行われる。(繰り返し)

<やってみよう5>

以下の文について、例にならって、「～に」を入れる時は「～に」を、入れない時は「φ」を記入してください。

(例) 太郎が**毎日** (φ) 図書館で本を読んでいる。

- (1) 会議が**朝10時** () 始まる。
- (2) **毎年** () この場所でお祭がある。
- (3) 第2次世界大戦が**1939年9月1日** () ヨーロッパで始まった。
- (4) 妹が**10年間** () ピアノを習っていた。
- (5) **江戸時代** () 東京が首都になった。
- (6) 田中さんが**去年** () 韓国に行った。

(2) 「～で」: 「場所」「手段・方法」「原因・理由」を示します。「～で」は出来事全体の場所を表します。文型の「～に (地点や着点)」とは異なります。その違いをしっかりと理解してください。

<p>(1) 場所</p>	<p>① サラが東京でホテルに泊まる。(「ホテルに泊まる」場所) ② ジムが日本で会社に勤める。(「会社に勤める」場所)</p>
<p>(2) 手段・方法</p>	<p>① 父が娘を車で学校に送った。(「娘を学校に送った」手段) ② 太郎がAIで問題を解いた。(「問題を解いた」方法)</p>
<p>(3) 原因・理由</p>	<p>① 雷でこの地域が停電になった。(「停電になった」原因) ② 友達が風邪で学校を休んだ。(「学校を休んだ」理由)</p>

<やってみよう6>

次の「～で」は、(1)場所、(2)手段・方法、(3)原因・理由、のどの用法ようほうになりますか。例れいにならって、(1)から(3)の番号ばんごうを入れてください。

(例) (1) 夏子なつこが**モンゴル**で民家みんかに滞在たいざいした。

- (1) () 智子ともこが**自転車**で学校がっこうへ通かよっている。
 (2) () マリアが**スマホ**で富士山ふじさんの写しゃ真しんを撮とった。
 (3) () ジェフが**アメリカ**で銀行ぎんこうに就しゅう職しょくした。
 (4) () **雨**で遠足えんそくが中ちゅう止しになった。
 (5) () 毎年まいねん多おほくの人が**ガン**で亡なくなっている。

(3) 「～と」: 一緒いっしょに何かなにをする「相手あいて」を示しめします。「～と一緒いっしょに」で言い替かえることができます。

あいて 相手	① 愛子 <small>あいこ</small> が 和也 と旅行 <small>りょこう</small> する。(「一緒 <small>いっしょ</small> に旅行 <small>りょこう</small> する」相手 <small>あいて</small>) ② 妹 <small>いもうと</small> が 母 とケーキ <small>ケーキ</small> をつく。(「一緒 <small>いっしょ</small> にケーキ <small>ケーキ</small> をつく」相手 <small>あいて</small>)
-----------	---

「～と」は一人ひとりでもできる動作どうさになります。相手あいてが必かならず必要ひつようとなる動作どうさは文型ぶんけい（「～が～と動詞どうし」）で表あらわされ、「～と一緒いっしょに」で言い替かえることはできません。

- 1) ○ 愛子あいこが**和也**と一緒いっしょに旅行りょこうした。(一緒いっしょの相手あいて)
 2) × 愛子あいこが**和也**と一緒いっしょに結婚けっこんした。(対たいする相手あいて)

(4) 「～より」: 「比較ひかくの対たい象しょう」を示しめします。「～より～(の)ほうが」という形式けいしきになることが多おほいです。「動きうごの始はじまり」を表あらわすことがありますが、会かい話わではあまあり使つかわれません。

ひかく 比較	① コーヒー より紅茶 <small>こうちゃ</small> が好 <small>す</small> きだ。(「好 <small>す</small> きだ」の比較 <small>ひかく</small> の対 <small>たい</small> 象 <small>しょう</small>) ② 次郎 よりア太郎 <small>たろう</small> のほう <small>ほう</small> が年 <small>とし</small> 上 <small>うえ</small> だ。(「年 <small>とし</small> 上 <small>うえ</small> だ」の比較 <small>ひかく</small> の対 <small>たい</small> 象 <small>しょう</small>)
-----------	--

(5) 「～から」: 「事態の始まり (時や場所)」を示します。

はじ 始まり	①居酒屋が 17時から 営業する。(「営業する」という事態が始まる時) ②恵子が 家から 学校に来る。(「来る」という事態が始まる場所)
-----------	---

(6) 「～まで」: 「事態の終わり (時や場所)」を示します。

お 終わり	①父が 深夜まで 仕事する。(「仕事する」という事態が終わる時) ②ジムが 大学まで 自転車で通う。(「通う」という事態が終わる場所)
----------	--

<やってみよう7>

次の文の「重要ではない成分 (ゴシック)」には助詞が付いていません。例にならって、() の中に「～に、～で、～と、～より、～から、～まで」の中から適当な助詞を入れて、文を完成させてください。何も入らない場合は「φ」を入れてください。

(例) 母親が**時々** (φ) **車** (で) ドライブする。

- (1) 日曜日 () 愛子が**サラ** () 京都に行く。
- (2) ジムが**東京** () 北海道まで**自転車** () 旅行した。
- (3) 次郎が**大阪** () カプセルホテルに泊まった。
- (4) **家の中** () 外のほうが涼しい。
- (5) 花子が**夜6時** () **深夜** () **居酒屋** () バイトしている。
- (6) 由美が**試験勉強** () **昨日の夜** () 寝ていない。
- (7) 弟が**兄** () ハンサムだ。
- (8) 和也が**毎日** () **エレン** () **図書館** () 英語を勉強する。
- (9) **2011年** () **津波** () 多くの家が流された。
- (10) 新幹線「のぞみ」が**朝9時** () 東京駅を出発した。

最後に、このテキストで扱う重要な成分と重要ではない成分に付く格助詞をまとめると、以下ようになります。

「～が」と「～を」は必ず重要な成分となります。「～に」と「～と」は重要な成分と重要ではない成分があります。「～で」「～より」「～から」「～まで」は重要ではない成分となります。

なお、「～へ」は、「方向」などを表す重要な成分として、「～に」の中で扱うことにします。また、「～から」を入れた文型も文法書によっては存在しますが、本書では外国人のよく間違える基本的な文型のみを扱っています。

	かくじょし 格助詞	じゅうよう せいぶん 重要な成分	じゅうよう せいぶん 重要ではない成分
(1)	が	○	×
(2)	を	○	×
(3)	に	○	○
(4)	と	○	○
(5)	(へ)	(○)	(×)
(6)	で	×	○
(7)	より	×	○
(8)	から	×	○
(9)	まで	×	○

※○=使われる ×=使われない

第1章のまとめ

1. 文型 (述語と格助詞の組み合わせ)

種類	例
(1)～が動詞	起きる／泣く／笑う／暮らす／壊れる／光る／消える
(2)～が～を動詞	食べる／見る／取る／散歩する／通過する／出発する
(3)～が～に動詞	懂れる／困る／会う／泊まる／集まる／留学する
(4)～に～が動詞	ある／いる／存在する／見える／聞こえる／できる／読める
(5)～が～と動詞	別れる／けんかする／結婚する／デートする／対立する
(6)～が～に～を動詞 ～が～を～に動詞	教える／紹介する／教わる／もらう／捨てる／置く／付ける
(7)～が形容詞	美しい／明るい／広い／複雑だ／ハンサムだ／簡単だ
(8)～が～が形容詞	痛い／かゆい／ほしい／嫌いだ／心配だ／苦手だ／上手だ
(9)～が～に形容詞	優しい／詳しい／熱心だ／親切だ／多い／足りない／必要だ
(10)～が名詞+だ	学生だ／独身だ／弁護士だ／学校だ／故郷だ／パソコンだ

2. 重要ではない成分に付く格助詞

「～に」(時)、「～で」(場所、手段・方法、原因・理由)、「～と」(一緒の相手)、「～より」(比較)、「～から」(動きの始り)、「～まで」(動きの終わり)

<問題1> 次の述語は上のどの文型 ((1)～(10)) に当てはまるでしょうか。

- ① 見せる () ② 気づく () ③ 悲しい () ④ 成長する ()
 ⑤ 外国人だ () ⑥ 買う () ⑦ 暗い () ⑧ 争う ()
 ⑨ 送る () ⑩ 便利だ () ⑪ 狭い () ⑫ わかる ()
 ⑬ 不安だ () ⑭ 降る () ⑮ 話せる () ⑯ 教師だ ()
 ⑰ 少ない () ⑱ 苦しむ () ⑲ 渡る () ⑳ 離婚する ()

<問題2> 例にならって、次の文の重要な成分 (文型) を○で囲んでください。

(例) ○三郎が ○アメリカで ○ホテルに ○泊まった。

- ① 子供が 外で 友達と 騒ぐ。 ② 荷物が 昨夜 家に 届いた。
 ③ 花子が ピアノが 上手だ。 ④ トムが 今 カラオケに 夢中だ。
 ⑤ 天気が 昨日から 今日まで 悪い。 ⑥ アンナが 日本で 恋愛に 悩んでいる。

1. 確認クイズ (10分)

30

【問題1】 次の動詞について、一番適当だと思われる文型を下の①から⑤の中から選んでください。(各1点)

(1)貸す	_____	(2)疲れる	_____
(3)通る	_____	(4)捨てる	_____
(5)できる	_____	(6)満足する	_____
(7)切る	_____	(8)作れる	_____
(9)遊ぶ	_____	(10)起きる	_____

①～が動詞 ②～が～を動詞 ③～が～に動詞 ④～に～が動詞 ⑤～が～に～を動詞

【問題2】 次の形容詞と名詞述語について、一番適当だと思われる文型を下の①から④の中から選んで下さい。(各1点)

(1)嫌いだ	_____	(2)正しい	_____
(3)美人だ	_____	(4)足りない	_____
(5)積極的だ	_____	(6)詳しい	_____
(7)複雑だ	_____	(8)憎い	_____
(9)必要だ	_____	(10)独身だ	_____

①～が形容詞 ②～が～が形容詞 ③～が～に形容詞 ④～が名詞

【問題3】 次の文の () の中に適当な格助詞を入れ、自然な文にしてください。必要ない場合はゼロ (φ) を入れてください。(各1点)

- トムがコンピューターゲーム () 夢中だ。
- 三郎が数学 () 苦手であることを知っているか?
- 日本人 () ブラジル人のほうが陽気だ。
- そのデパートが朝10時から夜8時 () 営業している。
- 父親が3年間 () 車で私を学校に送ってくれた。
- 子どもが公園で犬 () 遊んでいる。
- 父親が娘の頭の良さ () 感心している。
- 太郎が飛行機 () 沖縄に行った。
- ビル () 日本語の新聞が読めるとは思わない。
- ジェフがカナダ () 日本に来た。